

私たちの町内会 vol.29

一ノ関町内会

会員数 30世帯

会長
村上 幸一郎さん



一ノ関町内会は、富谷の西端に位置し、北に宮床川、南に竹林川、東に国道4号、西の山側に堂屋城跡長楽寺、中央に33ヘクタールの耕地を持つ田園地帯です。一ノ関の名前の由来は吉田川支流である竹林川と宮床川の一番上流に一番堰(せき)を設けており、「一番堰(せき)」が「一ノ関」になったといわれています。

地区としては誕生したのが明治以前、近世まで遡り歴史的に古く、寺や神社、灌漑用潜り穴などの施設が多数あります。長楽寺観音堂は、黒川33観音の30番札所、金色に輝く観音様の傍らに高さ12mほどの石像があり底部には十字が刻まれたマリア像があります。歴史とは逆に町内会館は新しく、住民活動の拠点となっています。今年は、7月に選挙の投票所になったので、朝早くから清掃を行い、きれいな会館でお客様を迎えることができました。町内会の行事、新年会、総会、グリーン作戦等9割以上の方の参加・協力をいただいています。また、真夏の暑い盛り、大変な作業ですが、河川愛護の堤防の除草作業を行っています。

一ノ関は農家、非農家の世帯が半々なのでなかなか融和が難しいという課題もありましたが、8月の夏祭りで親睦を図っています。子どもたちを町内会の皆で見守る大切な行事となっており、毎年人気の餅つきや焼き肉、焼き鳥、焼きそば、スイカ割り、抽選会など楽しいイベントとなっています。

富谷の中では比較的小さな町内会ですが、皆さんの顔が見えるとてもアットホームな親睦と融和を大切にしたい町内会です。これからも地域の皆さんの協力をいただいて頑張っていきたいと思えます。